



鳥飼

まちづくり

グランドデザイン通信

Vol.2
R5.10.23発行

鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップ開催報告

エリア：居住性向上エリアA
テーマ：魅力ある淀川河川敷

開催日時：令和5年9月26日（火）
午後6時30分～午後8時30分
開催場所：新鳥飼公民館
参加者数：15名

今回のワークショップは魅力ある淀川河川敷をテーマに、淀川の活用を考えるワークショップを開催しました。

当日は、20代～70代の15名に参加いただき、外国人の方も3名いらっしゃいました。淀川を活用するには何が重要か？どのようなことをすれば良いか？等、様々な観点から活発な意見が飛び交いました。



参加者の感想（一部抜粋）

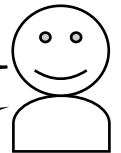


今後も、このようなワークショップがあれば積極的に参加させていただきたいと思いました。



行政の方と一緒に活動していけたらいいなと思いました。

若い方々が多く、とても楽しい会でした。



出た意見を集約して優先順位をつけて、行政主導だけでなく民活も含めて検討してはいかがでしょうか。



エリアごとに分けたワークショップは良かった。まちづくりを少しずつ広げるには、もっと多くの方に来てもらえたら良いと思う。

鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップとは？

鳥飼まちづくりグランドデザインを実現していくために、説明会が終わり将来予想がほぼ固まったエリアから、取組の方向性に沿って、これまでいただいた意見を基に、少人数で具体的な取組内容について議論していきます。

ワークショップで議論された具体的で実現可能性の高い取組については、さらに事業化等に向けて議論を深めてまいります。

今回のワークショップの内容は次ページをご覧ください

今回の内容

昨年の説明会でいただいたご意見のうち、淀川河川敷に関連する意見を「淀川の活用」、「スポーツ」、「ライフスタイル」、「教育その他」に分類しました。今回は、「淀川の活用」に関する意見を対象に、住民の居心地の良い環境づくりの観点からの重要度・難易度について、市の考えを例にワークショップ参加者ととともに整理しました。

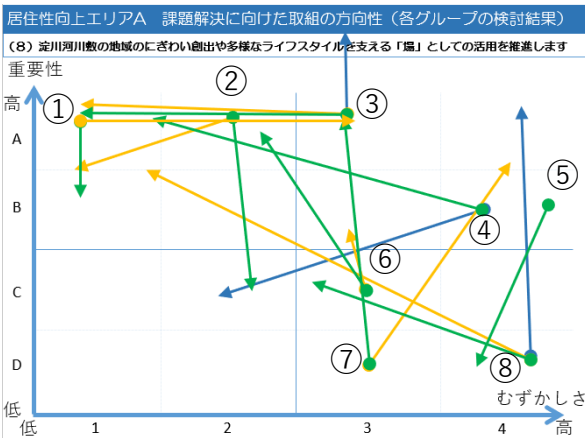
今後は、これ以外のご意見についても同様にワークショップで整理し、居住性向上エリアAにおける、重要ですぐに実施すべき取組について選定していきます。



- ① 淀川を子どもが安心して遊べる場にする
- ② 淀川の水や生き物を学び、体験できる
- ③ 淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする
- ④ 桜並木・遊歩道
- ⑤ 川の駅
- ⑥ 淀川の水源を利用したレジャーやスポーツができる
- ⑦ 淀川の渡し舟を復活
- ⑧ 外来種駆除

居住者にとって居心地の良い環境
(ライフスタイル)を軸に検討

各グループの意見（一部抜粋・集約）



○ワークショップ参加者のご意見（抜粋）

- ・ 淀川河川敷を整備していけば全体的に取り組みが繋がると考えられるので、淀川河川公園の整備は最重要と考える。
- ・ 外来種駆除をイベント等で実施すれば淀川の生態系を学ぶことが出来るが、そのためにも景観の整備が必要。
- ・ 桜は堤防には植えられないので、菜の花などの植物を植える方が難易度も下がりそう。
- ・ 子どもが安心して遊べるためにはトイレの整備等も必要。

※図中の ● → は、元の市の考えた位置 ● からどう動いたかを示しています

各グループの検討結果を踏まえて

今回、市としては居住性向上エリアなので、「住民の居心地の良い環境」を重要事項と考えていましたが、ワークショップでは「地域のにぎわい」の観点からのご意見が多く出ていました。「淀川河川敷（淀川河川公園）の整備」は、重要性が高いとの共通認識となりましたが、外来種駆除等の環境に関する取組も重要というご意見もあり、今回いただいたご意見を踏まえ、さらに居住性向上エリアAにおける具体的な取組内容について、ワークショップ参加者の皆様とともに議論を深めてまいりたいと考えております。

